

大阪府道路公社 経営目標（目標値）の変更について

【変更理由】

○R8年度経営目標については、R8年6月1日に開催された審議会においてご審議いただき、その際「償還準備金等積立額」のR8目標値（156.6億円）については、R8年3月にご審議いただいた中期経営計画のR7見込値（167.8億円）にR8年度の償還準備金等繰入額（▲11.2億円）を計上した値を設定。

○しかしながら、R7年度実績値は想定以上の交通量増加に伴う収入増等により、170.0億円となった。

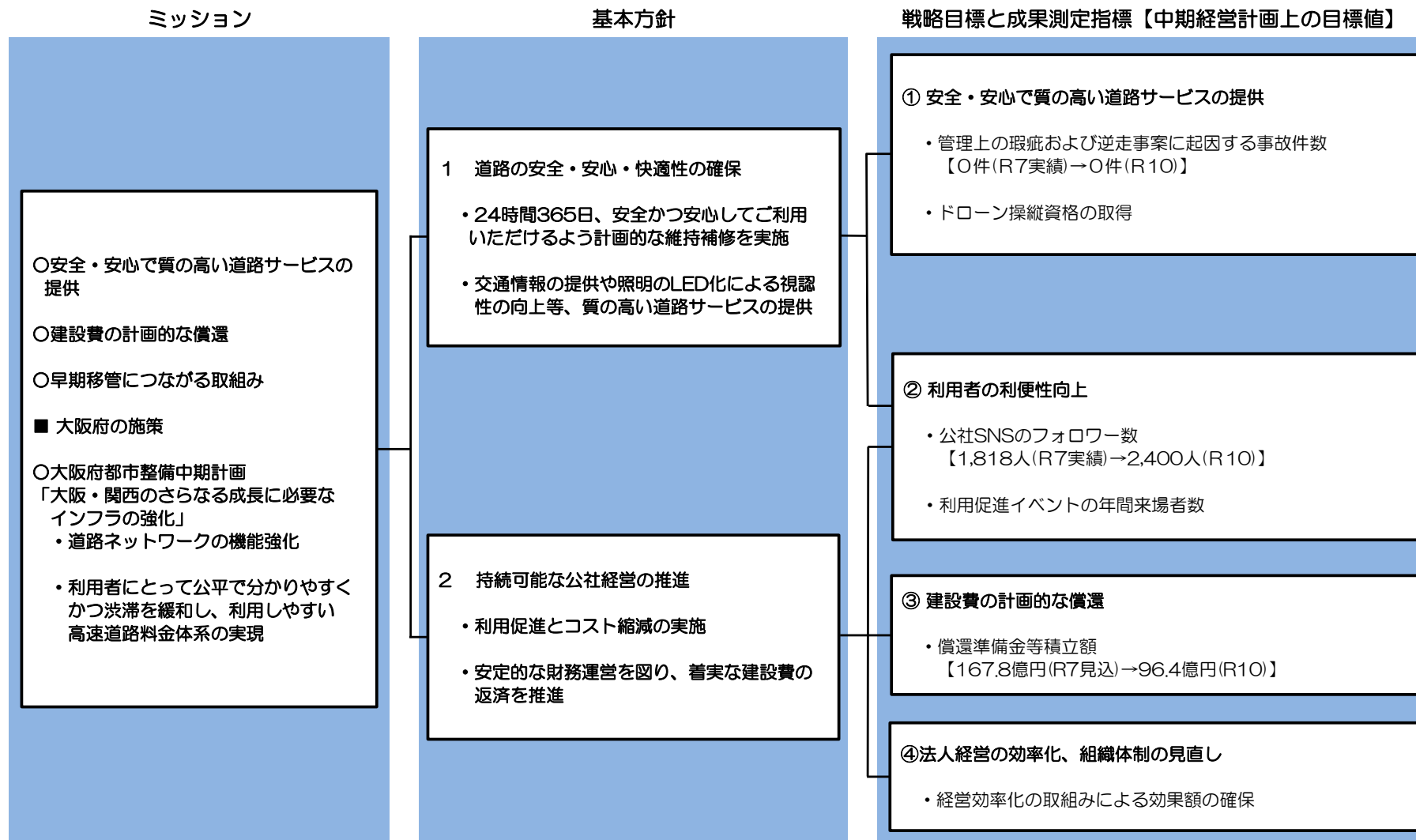
○本成果測定指標に当たっては、R7年度実績値（170.0億円）にR8年度償還準備金等繰入額（▲11.2億円）を計上した値（158.8億円）へR8目標値の修正をお願いするもの。

目標値を修正する指標

指標名	R8.6.1審議時目標値	指標・目標値の修正等
償還準備金等積立額	156.6億円	⇒ <u>158.8億円</u>

R8.6.1審議時 経営目標

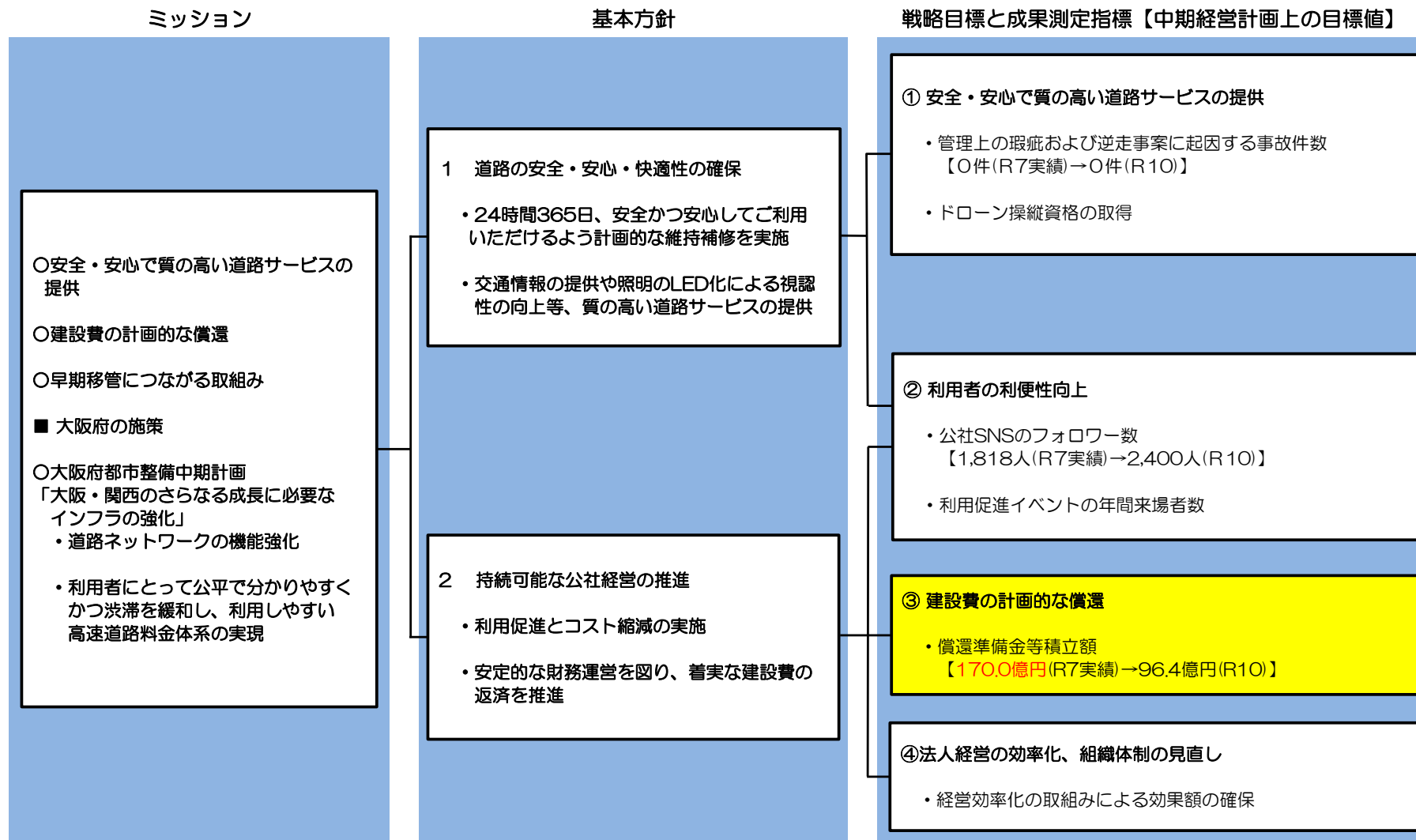
○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
作成(所管課)	都市整備部道路室道路整備課

R8.8.4 目標変更案

○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
作成(所管課)	都市整備部道路室道路整備課

R8.6.1審議時 経営目標

様式2

法人名

大阪府道路公社

○ 令和7年度の経営目標達成状況及び令和8年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 〔見込値〕	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R10)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
											R8 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	164.5	164.6	〔167.8〕	45	45	↓ 156.6	40	156.6	96.4	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR8年度の料金収入、道路管理費等の費用見通しに基づき算定。 なお、中期経営計画(R8～R10)の最終年度目標値は、鳥飼仁和寺大橋有料道路がR9年2月に料金徴収期間満了を迎えるため、箕面有料道路のみの数値。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)												戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	○ 道路公社は、道路公社及び有料道路制度を定めた道路整備特別措置法等の根拠法令に基づき、府議会の議決を経て道路管理者である大阪府知事の同意及び国土交通大臣の許可を得た事業計画によって、事業を実施しており、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供することを第一に、建設費を収益と費用の差額によって償還していくことを経営の基本とし、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引き継いでいく。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。										中期経営計画(2026～2028)に基づき、下記の行動計画を策定し、道路サービスの向上と、経営改善に取り組む。 Ⅰ. 道路の安全・安心・快適性の確保 1 計画的な点検や維持補修の実施 ・鳥飼仁和寺大橋有料道路の計画的な点検・補修と橋梁耐震補強工事完了 ・箕面有料道路の電気機械設備の更新と橋梁等の計画的な点検・補修 ・管理する2路線の日常パトロールや清掃などの維持管理 2 お客様が快適にご利用できる道路サービスの提供 ・SNSを活用した情報発信の充実や通行止めに関する事前周知 ・案内標識の設置による安全性の向上や交通の円滑化、照明のLED化による視認性の向上		
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	○ 近年の電力費や建設資材・労務費の高騰により、多大なコストが見込まれるため、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)の優先順位を見極めながら、効率的・効果的な維持管理を行う必要がある。 ○ 箕面有料道路は供用19年目を迎え、電気・機械設備の老朽化が進んでおり、設備更新を計画的に行っていくことが不可欠である。 ○ 国の将来予測では、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にある中で、更なる通行料金収入の確保が必要となる。										3 誤進入(逆走)対策 ・標識の追加や路面標示の改善 4 防災訓練の実施 ・大規模地震訓練やトンネル事故を想定した訓練の実施 5 箕面有料道路のAIカメラ導入 ・逆走や歩行者の誤進入といった重大事故につながる事象を即時検知 6 鳥飼仁和寺大橋有料道路の大阪府への引継ぎ ・橋の調査、補修および補強 ・料金所などの有料道路関連施設の撤去		
活動方針	○ R8年3月に策定した「中期経営計画(2026～2028)」に基づき、以下の活動方針に関する取組みを行う。 1 道路の安全・安心・快適性の確保 お客様に、24時間365日、安全で安心してご利用いただけるよう地震や事故を想定した訓練を引き続き行うことはもとより、計画的な維持補修や更なる誤進入(逆走)防止対策を実施するとともに、SNSを活用した交通情報の発信や照明のLED化による視認性の向上など、質の高い道路サービスの提供に取り組む。 2 持続可能な公社経営の推進 SNSを活用した情報を引き続き発信し、更なる利用促進および知名度向上に取り組み、1人でも多くの利用者に通行経路として繰り返し選んでいただけるよう観光協会や近隣市町などと連携したイベントに参加する。 また、コスト縮減については、箕面有料道路のトンネル照明LED化を推進し、使用電力量の削減や長寿命化修繕計画の策定およびDXの推進による維持管理費の抑制、2027年2月には鳥飼仁和寺大橋有料道路の料金徴収期間満了を迎えることから、組織体制の見直しや職員定数の適正化、本社機能の在り方について、検討を行う。 引き続き、利用促進とコスト縮減に取り組み、安定的な財務運営を図ることで、着実な建設費の返済に取り組む。										7 箕面有料道路のETC専用化を推進 ・2030年度頃のETC専用化に向けた取組み ・大阪府とともに料金体系一元化の実現に向けた高速道路会社への早期移管に関する取組みの検討 Ⅱ. 持続可能な公社経営の推進 8 知名度向上・利用促進 ・近隣市町・郵便局、観光協会や物流業界などと連携した地域交流イベントへの参加 ・SNSを活用した広報・PR活動による知名度向上 9 コスト縮減 ・トンネル照明のLED化による使用電力量削減 ・組織体制の再構築や職員数の適正化、本社機能の在り方を検討 10 建設費返済の着実な実行 ・利用促進とコスト縮減に取り組む、安定的な財務運営を図る		

R8.8.4 目標変更案

様式2

法人名

大阪府道路公社

○ 令和7年度の経営目標達成状況及び令和8年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 〔見込値〕	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R10)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
											R8 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	164.5	164.6	170.0	45	45	↓ 158.8	40	156.6	96.4	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR8年度の料金収入、道路管理費等の費用見通しに基づき算定。 なお、中期経営計画(R8～R10)の最終年度目標値は、鳥飼仁和寺大橋有料道路がR9年2月に料金徴収期間満了を迎えるため、箕面有料道路のみの数値。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)												戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	○ 道路公社は、道路公社及び有料道路制度を定めた道路整備特別措置法等の根拠法令に基づき、府議会の議決を経て道路管理者である大阪府知事の同意及び国土交通大臣の許可を得た事業計画によって、事業を実施しており、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供することを第一に、建設費を収益と費用の差額によって償還していくことを経営の基本とし、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引き継いでいく。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。										中期経営計画(2026～2028)に基づき、下記の行動計画を策定し、道路サービスの向上と、経営改善に取り組む。		
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	○ 近年の電力費や建設資材・労務費の高騰により、多大なコストが見込まれるため、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)の優先順位を見極めながら、効率的・効果的な維持管理を行う必要がある。 ○ 箕面有料道路は供用19年目を迎え、電気・機械設備の老朽化が進んでおり、設備更新を計画的に行っていくことが不可欠である。 ○ 国の将来予測では、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にある中で、更なる通行料金収入の確保が必要となる。										I. 道路の安全・安心・快適性の確保 1 計画的な点検や維持補修の実施 ・鳥飼仁和寺大橋有料道路の計画的な点検・補修と橋梁耐震補強工事完了 ・箕面有料道路の電気機械設備の更新と橋梁等の計画的な点検・補修 ・管理する2路線の日常パトロールや清掃などの維持管理 2 お客様が快適にご利用できる道路サービスの提供 ・SNSを活用した情報発信の充実や通行止めに関する事前周知 ・案内標識の設置による安全性の向上や交通の円滑化、照明のLED化による視認性の向上		
活動方針	○ R8年3月に策定した「中期経営計画(2026～2028)」に基づき、以下の活動方針に関する取組みを行う。 1 道路の安全・安心・快適性の確保 お客様に、24時間365日、安全で安心してご利用いただけるよう地震や事故を想定した訓練を引き続き行うことはもとより、計画的な維持補修や更なる誤進入(逆走)防止対策を実施するとともに、SNSを活用した交通情報の発信や照明のLED化による視認性の向上など、質の高い道路サービスの提供に取り組む。 2 持続可能な公社経営の推進 SNSを活用した情報を引き続き発信し、更なる利用促進および知名度向上に取り組み、1人でも多くの利用者に通行経路として繰り返し選んでいただけるよう観光協会や近隣市町などと連携したイベントに参加する。 また、コスト縮減については、箕面有料道路のトンネル照明LED化を推進し、使用電力量の削減や長寿命化修繕計画の策定およびDXの推進による維持管理費の抑制、2027年2月には鳥飼仁和寺大橋有料道路の料金徴収期間満了を迎えることから、組織体制の見直しや職員定数の適正化、本社機能の在り方について、検討を行う。 引き続き、利用促進とコスト縮減に取り組み、安定的な財務運営を図ることで、着実な建設費の返済に取り組む。										3 誤進入(逆走)対策 ・標識の追加や路面標示の改善 4 防災訓練の実施 ・大規模地震訓練やトンネル事故を想定した訓練の実施 5 箕面有料道路のAIカメラ導入 ・逆走や歩行者の誤進入といった重大事故につながる事象を即時検知 6 鳥飼仁和寺大橋有料道路の大阪府への引継ぎ ・橋の調査、補修および補強 ・料金所などの有料道路関連施設の撤去 7 箕面有料道路のETC専用化を推進 ・2030年度頃のETC専用化に向けた取組み ・大阪府とともに料金体系一元化の実現に向けた高速道路会社への早期移管に関する取組みの検討 II. 持続可能な公社経営の推進 8 知名度向上・利用促進 ・近隣市町・郵便局、観光協会や物流業界などと連携した地域交流イベントへの参加 ・SNSを活用した広報・PR活動による知名度向上 9 コスト縮減 ・トンネル照明のLED化による使用電力量削減 ・組織体制の再構築や職員数の適正化、本社機能の在り方を検討 10 建設費返済の着実な実行 ・利用促進とコスト縮減に取り組む、安定的な財務運営を図る		